

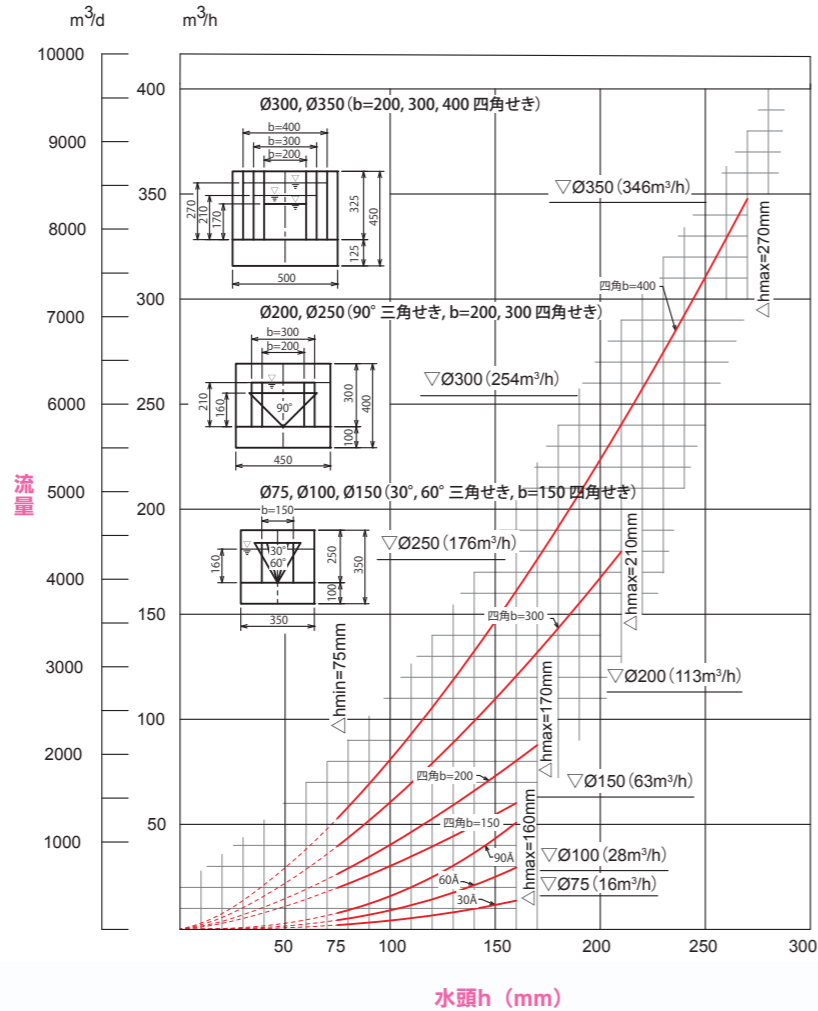


仕様 Specification

原理	可動せき
最大ろ過流量	16~346m ³ /h (口径による)
せき形状	三角せき (30°、60°、90°) 四角せき (b=150、200、300、400mm)
最大せき水頭	Δh max=160~270mmAq
最小せき水頭	Δh min=75mmAq
口径	75、100、150、200、250、300、350mm
材質	ウェアボックス=FRP せき=SUS304 摺動管=PVC 流出管=SUS
計測方式 (※何れかの 選択となります)	手動式：ロードセル式水位計と リニアライザによる流量発信 表字方式 電動式：ロードセル式水位計と リニアライザによる流量調節 発信方式
ろ過流量設定入力信号	DC4~20mA (電動式のみ)
ろ過流量出力信号	DC4~20mA 許容負荷抵抗 電動式：700Ω以下 許容負荷抵抗 手動式：500Ω以下
上昇下降速度	87/104mm/min (AC200V 50Hz 60Hz) 83/102mm/min (AC100V/ 50Hz 60Hz)
モータ定格出力	0.2kW
モータ電源	AC200V×3φ (オプションAC100V×1φ)
指示計(手動式)	FRPスタンド式 (屋内外共通) 180W×180D×1400H
制御盤(電動式)	銅板製前面厚式スタンド式 (屋内式、屋外式) 500W×350D×1600H (屋内式) 530W×430D×1600H (屋外式) デジタル指示調節計アイソ レータ、リニアライザ内蔵

口径 (最大流量)	ウェアボックス寸法
75mm (16m ³ /h)	
100mm (28m ³ /h)	350×350×350H
150mm (63m ³ /h)	
200mm (113m ³ /h)	450×450×400H
250mm (176m ³ /h)	
300mm (254m ³ /h)	500×500×450H
350mm (346m ³ /h)	

テレスコープ配管口径、せき形状と流量範囲

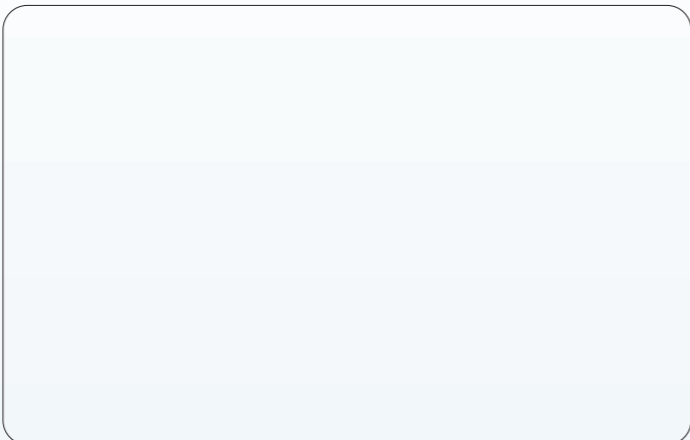


安全に関するご注意 ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。製品改良のため、仕様等は予告なく変更することがあります。

水道機工株式会社

- 本社 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16 Tel. 03-3426-2131
- 東北支店 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 Tel. 022-267-0807
- 東京支店 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16 Tel. 03-3426-8111
- 名古屋支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-26 Tel. 052-204-3411
- 大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-26 Tel. 06-6821-3505
- 広島支店 〒730-0015 広島県広島市中区橋本町10-6 Tel. 082-223-1528
- 九州支店 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-10-20 Tel. 092-713-7371
- 札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西18-1-26 Tel. 011-615-4230
- 秋田営業所 〒010-0951 秋田県秋田市山王2-1-40 Tel. 018-866-5551
- 北東北営業所 〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通15-20 Tel. 019-652-6101
- 北陸営業所 〒920-0031 石川県金沢市広岡2-7-1 Tel. 076-223-2950
- 和歌山営業所 〒640-8021 和歌山県和歌山市西旅籠町4番地 Tel. 073-498-6218
- 四国営業所 〒790-0963 愛媛県松山市小坂5-4-18 Tel. 089-934-5111
- 南九州営業所 〒892-0828 鹿児島県鹿児島市金生町4-10 Tel. 099-219-3780
- 沖縄営業所 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客2-18-5 Tel. 098-870-1501

SUIDO KIKO KAISHA, LTD.
http://www.suiki.co.jp

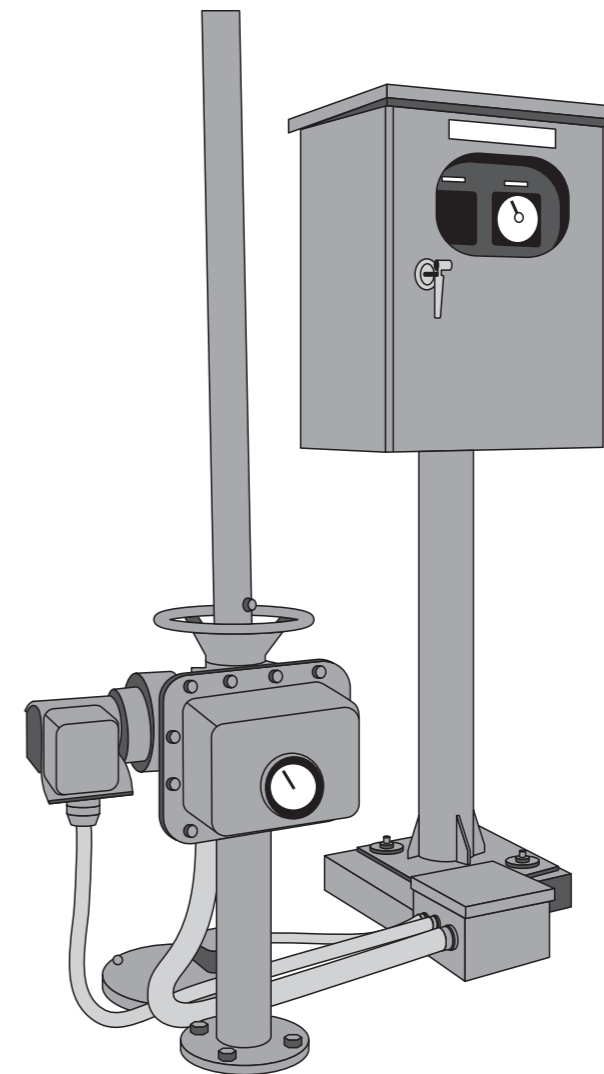


00-000
0000.00
000 DCC

Suido Kiko

ろ過流量調整装置 ワマックテレスコープ

TELESCOPIC FLOW CONTROLLER



ろ過砂層の目詰まりの変化に対し ろ過流量を常に一定に調整します。

[ろ過流量調整装置] ワマックテレスコープ

ワマックテレスコープは、緩速ろ過池の調整井に取り付けられ、ろ過砂層の目詰まりによって生じるろ過池と調整井の水位差に追従して可動せきを上下に移動させることによって、緩速ろ過池のろ過流量を調節する装置です。操作方式には、ウェアボックス（可動せき）の上下動を手動のハンドルで行う手動式と、ロードセル式水位計の信号に応じたアクチュエータによる自動操作を行う電動式があり構造は極めてシンプルで、故障の起こる部分がなく、取扱いが容易です。

特長 Advantage

- 1 正確な流量を指示します。**
 ロードセル式水位計によるせき水頭測定を採用により、フロート及びチェーン使用の方式に比べて流量測定が正確です。
- 2 保守が容易です。**
 機構が極めてシンプルで駆動部が少ないため、保守が容易です。
- 3 優れた耐久性があります。**
 ウェアボックスとグランド部の材質はFRP、せき板とシャフト類はSUS304のため耐久性に優れています。
- 4 流量の指示が安定しています。**
 ロードセル式水位計の採用により、水面の波立ちによるハンチング及び水位上昇や下降時のヒステリシスが少なく、流量指示が安定しています。
- 5 設置面積が少なくて済みます。**
 大きなフロートやガイドパイプが不要なため、少ない面積に据付が可能です。
- 6 小型、軽量で据付が容易です。**
 小型モータとFRP製のウェアボックスおよびグランドの採用による軽量化により、据付が容易です。
- 7 流量の計量と調節が同時に行えます。**
 ろ過流量の計量はせき水頭で行い、調節をウェアボックスの上下駆動で行う1台2役の装置です。

構造 Structure

調整井内は、ウェアボックス（せき一体式）、ロードセル式水位計、摺動管・流出管にて構成され、地上部は手動式の場合には開閉台、流量指示計、電動式の場合にはアクチュエータ、制御盤で構成されています。開閉台またはアクチュエータとウェアボックスとはシャフトで連結され、摺動管と共に一体となって上下動する構造となっています。ロードセル式水位計は、ウェアボックスに固定され、ウェアボックスと一体となったせきの越流水位を計測することにより、ウェアボックスで集水しているろ過流量を測定するものです。

動作説明 Operation

ろ過開始時、ウェアボックスを目標ろ過流量が得られる高さに設定しますが、ろ過の継続と共にろ過砂層の目詰りが進行し、調整井内の水位が徐々に低下していきます。調整井内水位の低下は、ウェアボックスのせき越流水位の低下でもあり、ろ過流量は目標に満たない状況となることから、ウェアボックスを目標越流水位が得られる高さに下降させる必要があります。手動式の場合は、流量指示計をみながら目標ろ過水量となるように開閉台で操作します。電動式の場合は、制御盤で設定した目標ろ過流量とロードセル式水位計が計測するろ過流量とを対比し、アクチュエータによりウェアボックスを常時適正位置に自動的に調整します。

[据付図]

